



# 2025年度 災害支援活動者養成研修

単位取得コース

主催：（一社）兵庫県社会福祉士会

災害対応・支援（分野共通）（分野専門／地域社会・多文化分野／ソーシャルワーク機能別科目群）  
1単位（認証No.2025002） 高齢分野、障害分野、児童・家庭分野、医療分野での読み替え可能

## 研修概要

災害対応の法制度、関係機関の役割、災害発生後からの福祉的ニーズの変遷、生活支援の実際を学び、ソーシャルワーカーの視点で災害支援ができるように、**オンデマンド講義の視聴（6科目）とオンラインでのライブ研修**により、災害支援の実際を学びます。

\*事前課題、事後課題あり

**対象** 社会福祉士であり、社会福祉士の災害支援に興味がある方

**受講料**

- ・社会福祉士会会員（全国）17,820円（税込）
- ・非会員 35,640円（税込）

\*申込者都合によるキャンセルは、返金できません。

**定員**

60名

**プログラム・修了要件**

次ページ参照

**申込方法**

兵庫県社会福祉士会の研修管理システム「manaable（マナブル）」にアクセスし、ログイン後、当該研修にお申込みください。

<http://hacsw.manaable.com/signup>



## 研修スケジュール



\*オンライン研修を受講するには、11月14日（金）までに、オンデマンド講義（6科目）の受講をすべて修了し、事前課題を提出することが必須要件となります（詳細は次ページ参照）。\*講義の視聴は研修後も12月18日（木）まで可能です。

お問合せ

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

☎ 078-265-1330

✉ [entry@hacsw.or.jp](mailto:entry@hacsw.or.jp)

オンデマンド講義のみが受講できる  
「一般教養コース」も開催しています。  
(単位の取得はできません)

# 研修プログラム

オンデマンド講義配信

2025.10.1 水 ~ 11.14 金

※講義の視聴は12月18日（木）まで可能です。

	内容	講師
1	オリエンテーション	
2	【講義1】福祉専門職による災害支援	福島県DWAT協議会会長 島野光正氏
3	【講義2】日本社会福祉士会の災害支援活動と災害対応ガイドライン	日本社会福祉士会副会長 角山信司氏
4	【講義3】大規模災害における福祉支援の変遷	兵庫県立大学大学院教授 阪本真由美氏
5	【講義4】多様な災害支援団体とDWAT	大阪DWAT隊員 平井亜里砂氏
6	【講義5】被災者支援のための制度と災害ケースマネジメント	弁護士 津久井進氏
7	【講義6】避難行動要支援者支援	兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏

\*講師略歴は「manaable」研修詳細ページの「カリキュラム」よりダウンロードできます。

オンライン研修

2025.11.15 土 10:50~16:45

※10:30~受付開始

オンライン研修を受講するためには、

- ①11月14日（金）までに上記のオンデマンド講義（6科目）を全て修了すること
- ②10月30日（木）までに、事前課題を提出すること

が必要です。

時間		内容	講師
10:50~		オリエンテーション	
11:00~ 12:30	8	【講義・演習7】避難所の実際 (避難所生活と避難所運営の課題について)	神戸学院大学 伊藤隆博氏
13:20~ 14:50	9	【講義・演習8】福祉専門職による災害支援の実際Ⅰ (災害支援活動における積極的ニーズ把握・アセスメントについて)	大阪DWAT隊員 澤村さおり氏
15:00~ 16:30	10	【講義・演習9】福祉専門職による災害支援の実際Ⅱ (アセスメントシート・企画シートを使った住民主体のネットワーク づくりについて)	大阪DWAT隊員 澤村さおり氏
16:35~		修了式	

\*講師略歴は「manaable」研修詳細ページの「カリキュラム」よりダウンロードできます。

修了要件

- 1) 事前・事後課題を提出し、合格すること
- 2) 事前のオンデマンド講義視聴をオンライン研修前までにすべて視聴し、オンライン研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退席は未修了となります）

事前課題

**10月30日（木）までに下記の課題を作成し、manaableを通じて提出してください。**  
「受講者の在住または職場のある市町村の地域防災計画を調べ、避難所や福祉避難所の場所を確認し、避難所の運営方法をまとめる」（800~1,000字）

事後課題

**12月19日（金）までに下記の2題を作成し、manaableを通じて提出してください。**  
1. 「災害発生後の被災者ニーズの変化と社会福祉士の発揮すべき専門性について」  
2. 「災害ソーシャルワークにおけるニーズ把握やアセスメントの実際について」  
(各800~1,000字)